

WeWill 2021

国内の収益力向上と海外拡大により持続的な成長へ

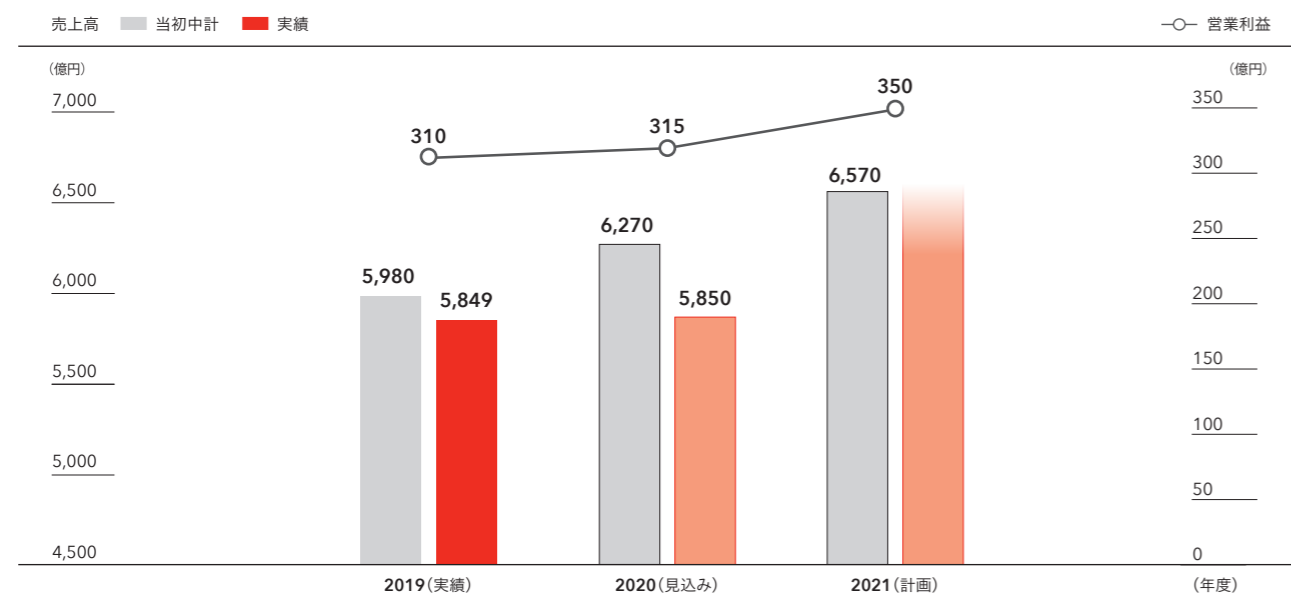


1. 持続的な利益成長
2. 資本効率の向上と株主還元の充実
3. 豊かな食生活と健康を支える新たな価値創造

2019年度

2020年度

■ 連結売上高・営業利益



■ 2019年度の成果

中計の主な施策	2019年度の進捗
1 事業構造の変革による収益力の向上	・ 主力事業の加工食品と低温物流が売上げ・利益をけん引
2 持続的な成長への資源配分	・ 成長投資や基盤強化投資は計画比でやや遅れ
3 海外事業の規模拡大	・ 米国や欧州は堅調だが規模拡大のスピードアップが課題
4 資本効率の向上と株主還元の充実	・ 増配を継続し配当性向も向上 ・ ROEは10%以上を維持

○加工食品は家庭用の販売が好調に推移、保管やTC(通過型センター)など低温物流も安定拡大を継続し、営業利益は5%の増益
○設備更新に伴う固定資産除却損の増加などにより純利益は前期を下回る

2020年度の主な施策

～新型コロナウイルスの影響による環境変化に迅速に対応するとともに、事業基盤を強化し、中期経営計画最終年度への道筋をつける～

加工食品事業

- ・ 業務用を中心に新型コロナウイルスの影響を受けるが、家庭用の拡販や商品ミックスの改善などにより収益を確保
- ・ 「個食」や「健康」を軸とした新たな付加価値商品の開発
- ・ 国内/海外における生産体制の整備・拡充

低温物流事業

- ・ 新型コロナウイルス下での効果的な拠点活用と円滑な業務遂行
- ・ 名古屋や横浜での大型冷蔵倉庫の早期安定稼働
- ・ 欧州での環境変化に対応した成長投資の実施

水産事業

- ・ 持続可能な資源調達と採算性向上を両立させる事業モデルの構築

畜産事業

- ・ 調達・販売の適正化による国産チキンの利益回復

■ 経営目標数値

[単位:億円]

	2019年度(実績)	2020年度(見込み)	増減額	増減率(%)
売上高	5,849	5,850	1	0.0%
営業利益	310	315	5	1.5%
営業利益率	5.3%	5.4%	-	0.1pt
当期純利益	196	200	4	2.0%
EBITDA ^{※1}	494	513	19	3.8%
EPS ^{※2}	147.16円	150.12円以上	-	-
ROE	10.9%	10%以上	-	-

※1 EBITDA: 営業利益+減価償却費(リース含む) ※2 EPS: 1株当たり当期純利益

(2020年8月4日現在)